



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 森六ホールディングス株式会社
 コード番号 4249 URL <http://www.moriroku.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 栗田 尚

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 下迫 俊司 TEL 03 (3403) 6102

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	26,426	△40.1	130	△91.7	△761	—	△2,085	—
2020年3月期第1四半期	44,131	△8.1	1,563	△45.0	1,568	△50.1	654	△71.3

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △1,795百万円 (ー) 2020年3月期第1四半期 418百万円 (△67.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△125.86	—
2020年3月期第1四半期	39.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	121,300	63,959	51.7
2020年3月期	122,493	66,467	53.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 62,701百万円 2020年3月期 65,229百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	51.00	—	43.00	94.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	20.00	—	30.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2021年3月期の配当予想については、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う影響により、業績予想の合理的な算定が困難なため未定としていましたが、2021年3月期業績予想の算定に伴い、上記のとおりといたしました。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	149,000	△12.8	3,800	△30.9	3,000	△47.1	200	△94.3	12.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2021年3月期の連結業績予想については、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う影響を合理的に算定することが困難なことから未定としていましたが、現時点で入手可能な情報に基づいた見通しの合理的な算定が可能になったため、通期の業績予想については上記のとおりといたしました。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	16,960,000株	2020年3月期	16,960,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	391,585株	2020年3月期	391,585株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	16,568,415株	2020年3月期1Q	16,545,115株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における国内および世界経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大による外出制限や休業要請等により、個人消費および企業活動が著しく制限され、景気が急速に悪化しました。経済活動は徐々に再開しつつあるものの、第2波の懸念もあり、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの主な事業領域である自動車業界でも、各国で工場の稼働停止や減産となり、自動車販売台数は世界的に減少しました。また、化学業界でも、原材料需要の落ち込みやナフサ価格の下落等の影響がありました。

このような状況のもと、当社グループは、従業員の安全と事業の継続を最優先し、出張制限、テレワーク、時差出勤等の感染防止策を実施してまいりました。また、高効率生産体制の見直しや次世代自動車に向けた研究開発への取り組みを継続するとともに、徹底した諸経費の抑制および原価低減に努めてまいりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症影響による生産台数の減少等により、当第1四半期連結累計期間における売上高は26,426百万円（前年同期比40.1%減）、営業利益は130百万円（同91.7%減）、経常損失は761百万円（前年同期は経常利益1,568百万円）となりました。また、工場の操業・営業休止期間中の固定費（人件費・減価償却費等）および当感染症に対処するために直接要した費用総額1,987百万円を特別損失に計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は2,085百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益654百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①樹脂加工製品事業

樹脂加工製品事業においては、各国の外出制限や主要顧客の工場停止等の影響を受け、中国を皮切りに、北米およびアジアの一部において工場の稼働停止が発生しました。また、稼働を継続した工場においても自動車需要の減退等により生産台数が減少した結果、前年同期比で減収となりました。利益面では、原価低減および経費削減に努めましたが、減収影響により減益となりました。

このような結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は12,898百万円（前年同期比54.2%減）、営業利益は4百万円（同99.7%減）となりました。

なお、停止した工場の全てがすでに稼働を再開しており、徐々に回復しつつあります。

②ケミカル事業

ケミカル事業においては、新型コロナウイルス感染症影響による自動車減産に伴い、塗料原料や自動車向け原料の販売が減少しました。その一方、高性能フィルムの製造販売を行う四国化工㈱では、医療・介護分野の受注が増加し、好調に推移しました。

このような結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は13,528百万円（前年同期比15.1%減）、営業利益は189百万円（同42.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は56,890百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,734百万円減少しました。これは主に、現金及び預金が4,995百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が7,511百万円減少したこと等によるものであります。

また、固定資産は64,410百万円となり、前連結会計年度末に比べ540百万円増加しました。これは主に、建物及び構築物(純額)が418百万円、建設仮勘定が277百万円減少した一方、投資有価証券が1,185百万円増加したこと等によるものであります。

これらの結果、総資産は121,300百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,193百万円減少しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は45,407百万円となり、前連結会計年度末に比べ473百万円増加しました。これは主に、支払手形及び買掛金が4,210百万円減少した一方、短期借入金が5,996百万円増加したこと等によるものであります。

また、固定負債は11,933百万円となり、前連結会計年度末に比べ841百万円増加しました。これは主に、繰延税金負債が384百万円、長期借入金が372百万円増加したこと等によるものであります。

これらの結果、負債合計は57,340百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,314百万円増加しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は63,959百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,508百万円減少しました。これは主に、利益剰余金が2,797百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期につきましては、新型コロナウイルス感染拡大による影響額を合理的に算定することが困難であったことから、業績予想を未定としておりました。当社グループでは、主要得意先の工場稼働停止や生産調整、政府による外出制限等により、一時的な工場操業停止がありましたが、すでにその全てが稼働を再開し、生産も回復しつつあることから、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき、2021年3月期の業績予想を算定いたしました。

詳細につきましては、本日(2020年8月7日)公表いたしました「特別損失の計上ならびに業績予想、配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,681	16,676
受取手形及び売掛金	31,097	23,585
商品及び製品	5,297	5,621
仕掛品	2,568	2,809
原材料及び貯蔵品	3,586	3,699
その他	4,406	4,509
貸倒引当金	△12	△12
流動資産合計	58,624	56,890
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	17,120	16,702
機械装置及び運搬具（純額）	10,517	10,268
工具、器具及び備品（純額）	5,524	5,828
土地	5,384	5,405
リース資産（純額）	148	136
建設仮勘定	7,851	7,574
有形固定資産合計	46,546	45,915
無形固定資産	1,004	972
投資その他の資産		
投資有価証券	14,186	15,372
長期貸付金	268	256
繰延税金資産	1,153	1,197
その他	736	720
貸倒引当金	△26	△24
投資その他の資産合計	16,318	17,522
固定資産合計	63,869	64,410
資産合計	122,493	121,300

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,801	15,590
電子記録債務	2,242	1,945
短期借入金	12,776	18,772
1年内返済予定の長期借入金	2,620	2,352
リース債務	139	220
未払法人税等	616	294
その他	6,736	6,232
流動負債合計	44,933	45,407
固定負債		
長期借入金	5,007	5,379
リース債務	327	458
繰延税金負債	4,369	4,753
退職給付に係る負債	557	524
資産除去債務	168	168
その他	660	647
固定負債合計	11,092	11,933
負債合計	56,025	57,340
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,640	1,640
資本剰余金	4,779	4,779
利益剰余金	54,307	51,509
自己株式	△239	△239
株主資本合計	60,487	57,689
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,393	6,275
為替換算調整勘定	△887	△1,492
退職給付に係る調整累計額	△69	△72
在外子会社のその他退職後給付調整額	304	301
その他の包括利益累計額合計	4,741	5,011
非支配株主持分	1,238	1,258
純資産合計	66,467	63,959
負債純資産合計	122,493	121,300

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	44,131	26,426
売上原価	38,659	23,464
売上総利益	5,471	2,962
販売費及び一般管理費	3,907	2,832
営業利益	1,563	130
営業外収益		
受取利息	38	34
受取配当金	138	135
その他	43	50
営業外収益合計	220	220
営業外費用		
支払利息	136	112
為替差損	44	975
持分法による投資損失	14	9
その他	19	14
営業外費用合計	215	1,112
経常利益又は経常損失(△)	1,568	△761
特別利益		
固定資産売却益	17	9
投資有価証券売却益	107	317
補助金収入	8	25
特別利益合計	134	352
特別損失		
固定資産売却損	-	0
固定資産除却損	-	0
新型コロナウイルス感染症による損失	-	1,987
特別損失合計	-	1,987
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,702	△2,396
法人税等	1,017	△329
四半期純利益又は四半期純損失(△)	685	△2,066
非支配株主に帰属する四半期純利益	31	18
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	654	△2,085

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	685	△2,066
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△399	881
為替換算調整勘定	155	△604
退職給付に係る調整額	△6	△2
在外子会社のその他退職後給付調整額	△16	△3
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	△266	271
四半期包括利益	418	△1,795
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	389	△1,814
非支配株主に係る四半期包括利益	29	19

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	樹脂加工製品 事業	ケミカル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	28,187	15,943	44,131	-	44,131
セグメント間の内部売上高 又は振替高	56	814	871	△871	-
計	28,244	16,757	45,002	△871	44,131
セグメント利益	1,286	327	1,614	△50	1,563

(注) 1. セグメント利益の調整額△50百万円には、セグメント間取引消去271百万円及び各報告セグメントに帰属しない当社の費用△322百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	樹脂加工製品 事業	ケミカル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,898	13,528	26,426	-	26,426
セグメント間の内部売上高 又は振替高	28	536	564	△564	-
計	12,926	14,064	26,991	△564	26,426
セグメント利益	4	189	193	△63	130

(注) 1. セグメント利益の調整額△63百万円には、セグメント間取引消去283百万円及び各報告セグメントに帰属しない当社の費用△346百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。